

ウェルビーイングな学校づくりは 三方よしの城づくり！

野本 翔平(令和研究会)



Well
being



問 教育長に質問する。新たな学校再編成計画・骨子編のキーコンセプトが「ウェルビーイング」に決まった。教育長は新たな義務教育学校作りを城作りに例えている。私はとても良い比喩だと思う。そこで新たな義務教育学校が城だとするならば、キーコンセプトであるウェルビーイングは何に例えられるか。

答 一言で言えば、三方よしの状態であると考えている。これは近江商人のビジネス哲学の核心で、売り手、買い手、世間の全てが満足できる状態のことを指す。ウェルビーイングは多様な個人が、身体的、精神的、社会的に良好な状態を満たされた状況を目指すものであり、まさに一人一人の内面における三方よしの状態であると考えている。

職員自身が行田の強みとなるために

小野 寺 貴男(蒼倫維新)



問 就業時間の自由度を上げポテンシャルを発揮できる環境を創る考えはあるか。

答 フレックスタイム制度等の取組は、多様な働き方を推進し、職員が生き生きと活躍できる職場環境の創出につながるものと考えているが、フレックスタイム制度の取組は、住民サービスへの影響も懸念されることから先進自治体の取組について調査研究していく。

問 他市の先進事例ではフレックスタイム制や、1日の最短勤務時間は5時間で最長の場合は10時間の週休3日制を導入している事例もあるが。

答 前橋市では試行的に週休3日制導入を行っている。職員アンケート結果では、半分以上の職員が満足している一方で、1日当たりの勤務時間が長時間になることによる疲労、あるいは職員との連携が取りづらいとの声も上がっていた。

導入にあたっては職員の負担、住民サービスに対する影響を十分に調査研究等していく必要がある。

市民生活における安心と安全に向けて

駒見 行彦(令和研究会)



● 路面表示整備（消えかかった道路白線等）について。

問 施工までの期間、警察管内、国・県との連携について。

答 現地調査後、約3カ月から4カ月程度。要望の中で警察や国・県が所管する案件は、市から所轄官庁へ情報提供を行い連携して取り組んでいる。

問 今後定期的にプランを立て施行する考えはあるか。

答 市内にはかなりの箇所があるので、状況を判断し必要に応じて早急に対応すべき箇所を判断し、交通に支障がないような対応を適切に図ってまいりたい。

● 市内における危険ブロック塀について。

平成21年度から小・中学校の周囲にあるブロック塀の安全点検を実施。危険性があるブロック塀を66件確認し、所有者に対し改善指導を行った。

問 民間への要補修・撤去に対する助成について。

答 補助制度の創設については、所有者が適切に管理することが基本となるが、様々な観点から検討してまいりたい。